

KapWeb

部位別・病期別のがん生存率が ウェブでインタラクティブにわかる

<https://kapweb.chiba-cancer-registry.org/web/general/top.aspx>

施設別生存率：<http://www.gunma-cc.jp/sarukihan/seizonritu/index.html>

●全がん協生存率と院内がん登録から KapWeb まで

全国がん（成人病）センター協議会（以下「全がん協」）は、国立がん研究センターを事務局とし、がん診療の中核的な役割を担う全国31のがん専門診療施設が加盟する協議会です（<http://www.zengankyo.ncc.go.jp/>）。1973年（昭和48年）に発足した全がん協は、院内がん登録の推進とがん治療成績の向上を明らかにするための研究班を組織し、早くから治療成績の集計を行ってきました。がん診療が高度化する一方、インターネットの普及を背景に、精度や患者背景の明示されない生存率データが散見されるようになり、医療の現場に混乱をもたらすことが危惧されました。

このため、全がん協は、2004年に施設別生存率公表のための精度基準を作成、2007年には精度基準を達成した施設の病期別施設別生存率を公開しました。公表は社会的なインパクトをもって迎えられましたが、一方で施設間の生存率格差が明らかとなり、その格差が何によるものなのかという議論を喚起しました。

施設別生存率では集計に用いることのできる症例数に限りがあるため、集計部位が5部位程度に限定されます。このたび研究班では1997年診断以降2004年診断までの全がん協施設24万症例をデータベース化し、インターネットを通じて生存率を公開するシステム KapWeb（カップウェブ）の公開と、併せて施設別生存率データの更新を実施しました。

研究的公開ではありませんが、全国の基幹的がん専門診療施設の診療成績が一括で公表されるのは国内初の試みです。増え続けるがん患者さんの受療の一助として、また将来のがん対策のための道標として KapWeb が活用されることを願い、本統計を世に送り出します。

全国がん（成人病）センター協議会
がん研究開発費研究班

全国がん（成人病）センター協議会加盟施設：北海道がんセンター、青森県立中央病院、岩手県立中央病院、宮城県立がんセンター、山形県立中央病院、栃木県立がんセンター、茨城県立中央病院、群馬県立がんセンター、埼玉県立がんセンター、国立がん研究センター東病院、千葉県がんセンター、国立がん研究センター中央病院、癌研究会有明病院、東京都立駒込病院、神奈川県立がんセンター、新潟県立がんセンター新潟病院、富山県立中央病院、石川県立中央病院、福井県立病院、静岡県立静岡がんセンター、愛知県がんセンター中央病院、名古屋医療センター、滋賀県立成人病センター、国立病院機構大阪医療センター、大阪府立成人病センター、兵庫県立がんセンター、呉医療センター・中国がんセンター、山口県立総合医療センター、四国がんセンター、九州がんセンター、大分県立病院、以上31医療機関

KapWeb のしくみ

●集計対象としたデータ

公開開始時では、1997年～2004年に全がん協加盟施設で診断治療した全部位の入院がん患者約24万症例を集計しています。また、今後一年あたり約4万症例が追加される予定です。

●集計の方法

性別、年齢階級、がんの部位・病期、手術療法の有無等を、KapWebユーザーが指定すると、その条件に一致した症例の5年生存率がウェブ上で集計されます。集計には、臨床で広く用いられているカプラン・マイヤー法が用いられ、サーバ上で計算が行われます。集計結果は、ユーザーのパソコン端末から、インターネットエクスプローラなどのブラウザを用いて表示されます。素の生存率計算結果である実測生存率に対して、心臓病などがん以外の原因で死亡するがん患者さんの分を補正した相対生存率が計算されます。また、がん生存者（がんサバイバー）に向けて、発病からの経過日数を入力することで、その日数までの生存者を100%とする「がんサバイバー生存率」（仮称）も集計が可能です。

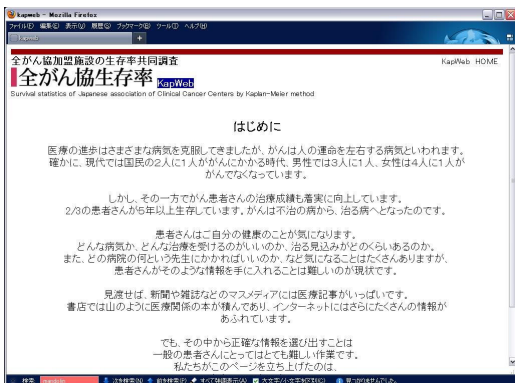
●全がん協生存率 Web 集計システム KapWeb（カプウェブ）の特色

- ①広範な集計カテゴリー—これまで、特定施設で外科など限定された症例でしか公表されてこなかった生存率が、30以上の部位・病期で性別年齢ごとに集計表示されます。
- ②データ提供への配慮—がん告知の直後など受容のための心の準備が整わない時期にある患者さんや治療前に生存率についての情報を望まない方のために説明と統計ページ回避の画面を用意しました。
- ③生存率曲線の形—生存率曲線の形を表示することで、引き続き再発に注意が必要か、再発の多い時期を乗り切ったのかといった見通しを得ることができます。
- ④がんサバイバー生存率—初発患者さんの生存情報のみならず、治療開始から一定期間生存した患者さんの生存率の集計が可能です。がんの部位によっては、長く生存した患者さんほどその後の生存率の改善を見ることができます。
- ⑤治療法別生存率—手術の有無による治療成績の集計が可能です。

●施設別生存率の更新

- ・2007年、2008年の更新に引き続き3回目の施設別生存率の更新を行います。
- ・現在掲載されている1997年～2000年診断症例の生存率に追加して、2001～2003年診断症例のデータを掲載しました。
- ・公表基準を達成し集計可能となった施設数が現行19施設から今回更新で28施設へと大幅に増加しました。
- ・生存率算出の部位は、胃、大腸、肺、乳房、子宮頸部の5部位で変更ありませんが、全施設の集計では、肺がんを腺がん、扁平上皮がん、小細胞がんの各組織型別に算出しました。手術可能な1期の5年生存率で見ると、腺がん87.0%、扁平上皮がん62.7%、小細胞がん51.4%と、同じ肺がんでも大きな開きがあることが見て取れます。

KapWeb の使い方

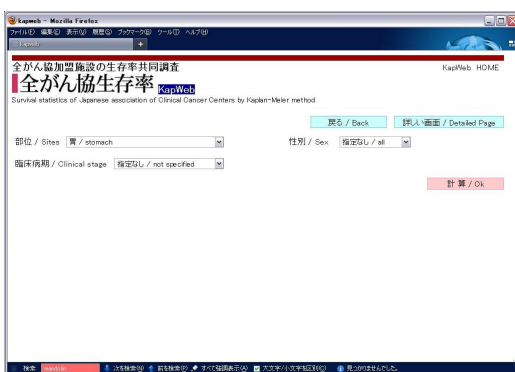


① トップページから KapWeb についての解説が2画面あります。初めてお使いになる方のための注意が書かれています



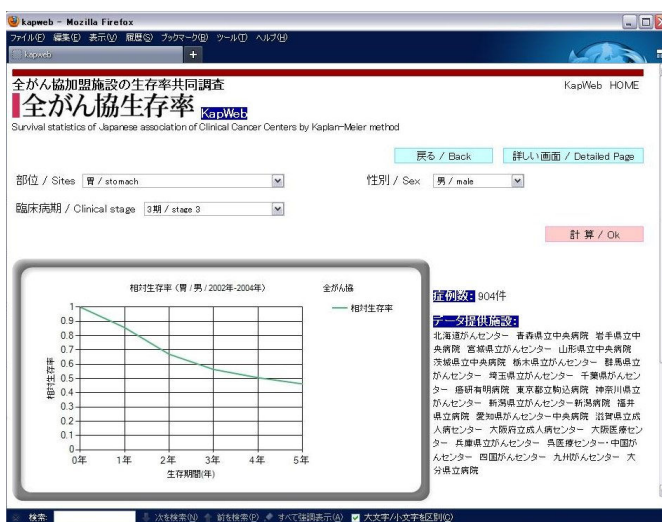
②取説画面

かんたんデータ画面とくわしいデータ画面の2画面の使い方を解説しています。ここで、どちらのデータ画面で検索するかを選択してください。



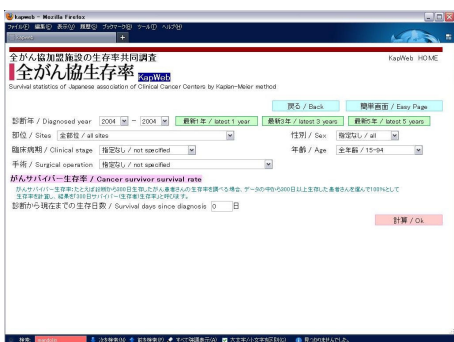
③かんたんデータ画面

このページで、部位、臨床病期、性別の各項目を選択してください。項目を選択したら「計算」のボタンをクリックしてください。KapWeb が計算を始めます。データや選択した項目によっては、計算に時間がかかり、結果の表示までお待ちいただくことがあります。



④検索結果画面

あなたの選択した項目に基づいた5年生存率のグラフが表示されます。計算に用いられた症例数とそのデータを提供した医療機関の名前がグラフの右側に表示されます。



⑤詳細データ画面

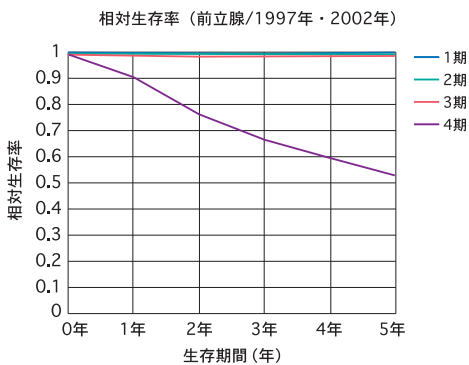
この画面では、さらに詳しいデータの検索ができます。かんたんデータ画面の項目に加えて、診断年、手術、年齢で絞り込むことができます。また、がんサバイバー生存率も算出することができます。

* 画面は開発中のものを含まます。

データの読み方

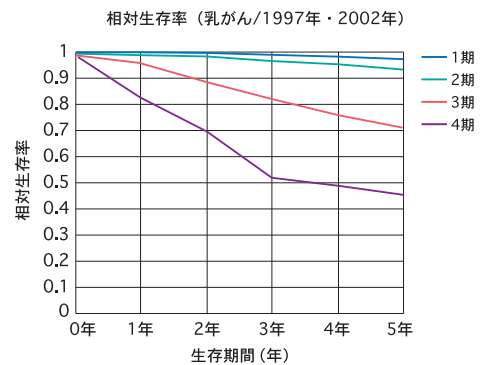
●転移が予後を決めるがん

前立腺がんでは相対生存率で見ると1期から3期まで生存率は保たれ、転移の出現する4期のみ生存率が低下します。



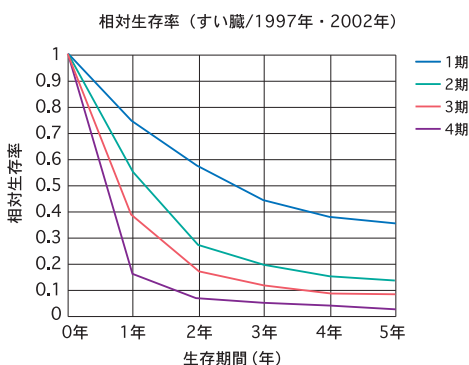
●いつまでも再発するがん

乳がんや一部の血液がんでは生存率が直線的に低下し、どの時期でも一定の割合で再発が続きます。初回治療後も定期的な経過観察が欠かせません。



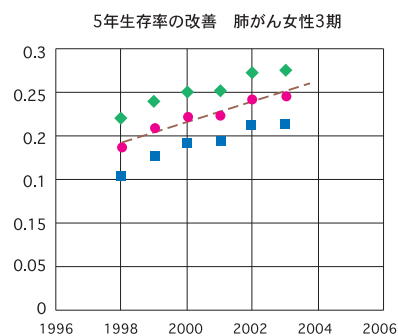
●足の速いがん

肺がんやすい臓がんでは、1期から生存率は低下し、進行の早さが治療成績を厳しいものにしています。



●生存率の改善

下図は肺がんの女性の3期のがんについて、年とともに生存率が改善していく推移をみたものです。1998年から2003年まで、5年間で5%、すなわち年率1%ずつ治療成績が改善していることが見てとれます。



理由としては、化学療法が進歩が貢献していると考えられます。

●お問い合わせ先

内容に関するお問い合わせは下記をお願いいたします。
千葉県がんセンター研究局 がん予防センター (疫学研究部)
三上春夫 (がん研究開発費研究班 班長) TEL 043-264-5431 (代表)

●引用ルール

全がん協生存率を引用される場合は次の通りお願いいたします。
「全国がん (成人病) センター協議会の生存率共同調査 (xxxx年xx月集計) による」と記載してください。
生存率データは1年間に複数回 update されています。また、書籍に引用の際はグラフ右側に表示されるデータ提供施設名も記載してください。

●本サイトへのリンクについて

本ページへのリンクはご自由に張っていただいて結構です。ただし、TOP ページをリンク先としてください。
<https://kapweb.chiba-cancer-registry.org/web/general/top.aspx>
<http://www.gunma-cc.jp/sarukihan/seizonritu/index.html> (施設別生存率)